

第七十三回
帝國議會
貴族院

社會事業法案特別委員會議事速記録第五號

昭和十三年三月十七日(木曜日)午前一時
三十九分開會

付託議案(追加)

職業紹介法改正法律案

○委員長(公爵岩倉具榮君) 是ヨリ開會致シマス、三案ニ付テ御質問洩ノ方ゴザイマシタラ此ノ際御願ヒ致シマス、下村委員ニ申上ゲマスガ、御質問ガゴザイマシタナラバ……

○下村宏君 私ノハ實ハ大臣ノ御耳ニ入レタイノデスガ、二時デナイト大臣ガ見エラレナイト云フ話デスガ、出來レバ大臣ガ見エデカラ申シタイノデスガ、其ノ前ニ私ニ回委員會ヲ缺席致シマシカラ、話ガ重複ニナルカモ知リマセスガ、此ノ商店法デ此ノ使用人ノ補習教育トカ、或ハ其ノ健康保

險ト云フヤウナコトニ付テモウ質問應答ガアリマシタデセウカ、若シナケレバ伺ヒタイノデアリマス、モウ濟ンデ居ルノデアッタラ取止メマス

○委員長(公爵岩倉具榮君) チョット速記ヲ止メテ下サイ

〔速記中止〕
○委員長(公爵岩倉具榮君) 速記ヲ始メ

テ……

○子爵富小路隆直君 ソレデハ私伺ヒタイノデスガ、社會事業法案ニ關シテノ質問デゴザイマス、ソレカラ一點ハ大臣ガ御出デニナッタラ伺ヒタイと思ヒマス、今其ノ以外ノコトヲ伺ヒマス、此ノ社會事業法案ガ成立シマシタ曉ニ於テ、此ノ法案ガ施行サレマス、此ノ罰則ノ規定ナドノ點ニ於テ一般ノ社會事業團體ガ非常ニ寄附ト云フヤウナコトニ付テ畏縮ラシテ、寄附金募集ト云フコトハ今迄ノヤウナ方法デナクテ、芝居ノ切符ヲ賣ルトカ、何トカ云フヤウナ方法ニ依ッテ、寄附金ヲ募集スルト云フ方法ヘ向イテ行クノデハナイカト云フヤウナコトヲ考ヘル人ガアル、現在其ノ實際ノ事情ヲ見マス、隨分慈善團體ガ觀劇會ヲ催シテ、切符ヲ皆ノ所ヘ送ッテ來ル、サウシテ暫ク經ツト金ヲ取リニ來ル、又切符ヲ送り付ケテ置イテ、入用ガナケレバ送り返シテ呉レト云フヤウナコトヲ言ッテ來ルコトガアル、マアサウ云フ芝居ダノ音樂會トカ何トカ云フコトニ依ッテ寄附ヲ集メルト云フ方法ニ向クノデナイカト云フ考ヲ持ツ人ガ相當アルノデス、サウ云フ取締ハ一般ハ監視

廳方面デ、内務省方面デヤッテ居ラレルコトグラウト思ヒマスガ、社會事業ニ關係スル團體ノヤリマスサウ云フモノハ、此ノ法律ニ依ッテ取締ラレルノデアリマスカ、ドウデアリマスカ

○政府委員(灘尾弘吉君) 御答致シマス、只今御質問ニナリマシタヤウナ方法ニ依ッテ金ヲ集メマスル場合ニハ、此ノ法律ニ依ル寄附金募集ノ許可ノ問題トハ關係ガナイコトニナリマス

○子爵富小路隆直君 此ノ法律ニハ關係ガナイト云フコトデアリマス、是ハ自然内務省關係ニナルと思ヒマスガ、内務省ノ方ガ御出デニナリマセヌヤウデスガ、委員長ニチョット申上ゲマスガ、内務省ノ御方、ドナタカチョット來テ戴ケマセスカ

○政府委員(廣瀬久忠君) 御話ノ慈善興行ト云フ性質ノモノデアリマスガ、是ハ東京デ申シマス、警視廳令、地方廳ニ於テハソレハ地方廳ノ警察規則、ソレニ依リマシテ興行ノ許可ヲ受ケルト云フコトニナル、今回社會事業法ガ制定サレマシタ場合ニ於テハ、サウ云フ種類ノ興行ガ殖エルガラウカドウガラウカト云フヤウナ點ニ觸レテノ

御質疑ト思ヒマスガ、從來モ社會事業ニ致セ、何ニ致セ寄附金ヲ募集スル時ニハ警察規則ニ依ッテ許可ヲ受ケテ居ル、今回モ法律デ許可ヲ受ケマスガ、從來モ許可ヲ受ケテ居ッタノデアリマスカ、別ニ今回社會事業法ヲ制定サレテ寄附金ヲ募集ニ於テ許可ヲ受ケルコトニナリマシテモ從來ト變リハナイ譯デアリマス、唯從來ハ警察規則ニ依ッテ許可ヲ受ケテ居ッタ、今回ハ社會事業法ニ依ッテ許可ヲ受ケルト云フダケノコトデアリマスカ、特ニ慈善興行等ニ形ヲ變ヘテ行クト云フヤウナコトハナイ、特ニサウ云フコトハナイト云フヤウニ思ヒマスガ、大體今迄ト大シタ變リハナイノデアリマス、斯ウ考ヘテ居リマス

○子爵富小路隆直君 尙チョット伺ヒマス、實ハ此ノ法ガ出來タ爲ニ非常ニヒドク取締ラレルト云フヤウニ考ヘテ居ル人ガ相當アルヤウナンデス、ソレデ此ノ法ノ取締ト慈善興行ノ方ノ取締トガ同ジヤウニ取締ラレルナラバ宜イガ、片方ガ寛大デアッテ、片方ハ酷デアルト云フヤウナコトニナッテハ甚ダ其ノ間ノ權衡ガ保テナイ、サウ云フ點ハ十分注意シテヤッテ貫ヒタイト云フノガ、希

望デアルラシイノデス、ドウカ其ノ點ヲ能ク内務省トモ御協議ニナツテ圓滿ニ旨ク竝行シテ行クヤウニドウカ宜シク御願ヒ申上ゲマス

○政府委員(廣瀬久忠君) 御話ノ點ニ付キマシテハ、内務省當局トモ打合せマシテ、十分圓滿ニ施行スルヤウニ致シマス

○下村宏君 他ニモウドナタモナイヤウデスカラ、私ソロ／＼始メマス、此ノ簡易生命保險ノ保險金額ノ制限擴張ニ關聯シテ、二三質問ヲ致シタイノデアリマスガ、ソレニ關聯シテ衆議院ナリ、又本院ノ委員會デ、多少質問應答サレタ點ニ觸レテ所見ヲ述ベテ置キタイノデス、私ハ此ノ簡易生命保險ニハ縁ガ極メテ深イノデ、今日質問スル大體ノ點ハ、過般簡易生命保險ノ積立金ノ資金運用委員會ノ席上デ、永井議長ニ質問應答ヲ終ッテハアルノデアリマスガ、ソレニ對シテ更ニ當局者ノ事務ノ取り方ニ付テ御尋ヲシタイノデアリマス、衆議院ナリデ今迄ノ質問ノ應答ハ保險金額ヲ上ゲルト云フコトハ現在ノ金額ト大體千圓迄ノ間ノ開キガ空イテ居ル、其ノ間ノ空虛ヲ充タス途ガナイ、其處ヘ時代ノ動キニ依ッテ物價ガ段々上ッテ來テ、金ノ價值ガ落チテ來テ居ルカラ當然上ゲタイ、更ニソレニ對シテ衆議院ハ附帶

決議デ更ニ千圓迄上ゲタラ宜イト云フ意見

ニナツテ居ルノデアリマス、私共嘗テ提案ヲシタ額ガ多過ギルト云フノデ、二百五十圓迄切下ゲラレタ議會ガ、今日ハ反對ニ其ノ金額ヲ逆ニ上ゲナケレバイカスト云フヤウニナツタト云フコトハ非常ナ時代ノ變遷デアッテ、此處ニハ其ノ當時ノ簡易生命保險ノ制度ノ委員會ニ列席サレタ田所君モオ出デデアリマスガ、是ハ感慨無量ダと思フノデス、併シ私ハ此ノ制限ヲ上ゲルト云フコトハ、今言ッタイウナ意味ノ外ニマダアルと思フ、ソレハ近頃ノ保險ノ經營ガ非常ニ困難ニナツテ來タト云フコトデス、言フ迄モナク廣田内閣ノ時ノ馬場財政デ、公債ノ利子歩合ヲ變ヘテカラ金利ガ下ッテ來テ居ルノデアリマス、從ッテ保險料シテ入ッタ金ノ運用ヲスル利殖ノ歩合ガ下ッテ來テ居ル、一般ノ利殖歩合ガ一面ニ下ッタ半面ニ物價勞銀ガ上ッテ來タノデアリマスカラ、募集員ト言ハズ有ラユル保險ノ經營ノ費用ハ嵩マッテ來ル、サウスルト上下ニ保險事業ハ困難ニナツテ來ル、從ッテ私ハ現内閣ハ、電力法案ノ如キモ極メテ重要デアリマセウガ、此ノ保險ノ利殖歩合ガ下リ、一方デ募集費其ノ他ノ經費ガ嵩ンデ來ル、斯クシテ所謂俗ニ謂フ弱小會社、此處ニハ其ノ會社ノ數知レ

ヌ關係人トカ株主、更ニ多數ノ保險ノ契約者ト云フモノガ、ドウナルカト云フ非常ナ

大キナ問題ニ直面シテ居ルト思フ、是ハ何レ政府デモ考ノアルコトデアリマセウガ、簡易生命保險ハ所謂俗ニ小口保險デアリマス、而モ今日迄法定ノ積立金モ出來、更ニ多少ノ剩餘金ガ有リ得ルト云フノハ、言フ迄モナク遞信省ノ全國ニ擴ガッテ居ル郵便局所ヲ利用スル爲ニ外ナラナイノデアリマス、是ハ私當局ノ方ニ今求メル譯デアリマセヌガ、責任準備金ガ年々ドウ増シテ來テ居ル、ソレカラ剩餘金ガ年々ドウ増シテ來テ居ル、殊ニ剩餘金ハ其ノ人々ノ取扱方ト云ヒマスカ、保險料收入ト云フカ、仕事ニ比率ヲ取ッテ剩餘金ノ出來ル歩合ガドウ云フ「カーヴ」ヲ作ッテ居ルカト云フコトヲ、無論只今デナクテ宜シイノデアリマスガ、サウ云フ統計ガ若シ出來レバ頂戴シタイ、ソレハ此ノ事業ガ、年々仕事ガ擴ガッテ來ルガ、之ニ對シテ剩餘金ノ出來ル率ガ高マッテ行クノカ、低マッテ行クノカ、ドウナツテ居ルノカ、詰リ此ノ事業ノ所謂此ノ健康診斷ヲスル一ツノ手段トシテ、若シ分ッテ居レバ今御伺ヲシマスルシ、分ラナケレバ後カラ材料ヲ頂戴シタイと思ヒマス

○政府委員(進藤誠一君) ソレデハ詳シイ

數字ニ付キマシテノ答辯ハ後ニ致シマシテ、大體ノ私ノ存ジテ居ル限りデ御答ヘ申上ゲルコトニ致シマス、剩餘金ハ最初ノ中ハ、事業ガ殖エル、加入者ガ殖エルニ從ッテ殖エタノデアリマスルガ、段々ニソレガサウデハナクナツテ來タ、詰リ事業ガ殖エル比率ヨリモ、剩餘金ノ出來ル割合ハ少クナツテ來タノデアリマス、ソレハ何故カト申シマス、結局運用利廻ガ低金利ノ爲ニ段々惡クナツタ、此ノ結果デアリマス

○下村宏君 ドウモ御話ノ通りデアラウト私共モ豫期シテ居ッタノデアリマスガ、此ノ儘デ進ンデ行クト、將來非常ニ經費ヲ節約スルカ、然ラズンバ此ノ保險率ヲ變ヘテ行ク、今民間デモ第一相互トカ千代田生命ハ確カ三分五厘ノ利廻デ算出シテアルノデスガ、一般ハ四分ダと思ヒマス、民間デモ此ノ三分五厘ノ利廻デ經營シテ居ル、第一相互トカ千代田生命トカ云フヤウナ所ハ比較的樂デアリマセウガ、四分ノ利デ經營シテ居ル所ハ餘程困難ニナツテ來ヨウト思フ、デ併シ政府ト云ハズ、又民間ノ保險會社ト云ハズ、保險ノ料金率ヲ動かスト云フコトハ大變デアリマスカラ、茲ニ特ニ此ノ經費ノ節約ヲ圖ラナケレバナラス、其ノ經費ノ節約ヲ圖ラナケレバナラス時ニ、遞信省ノ簡

易生命保險事業ガ二ツニ分レタ、近衛内閣
ガ出來マシタ時ニ、保健、社會ト云フ此ノ
大キナ問題ニ付テ茲ニ一ツノ省ヲ作ルト云
フコトハ誠ニ時宜ヲ得タモノト我々喜ンダ
ノデアリマスルガ、併シ一面利害ハ伴フノ
デ、民間ノ保險ノ監督ヲシテ居ル、其ノ保
險ニ生命保險或ハ傷害、火災色々ノ保險ガ
アルガ、其ノ中ノ生命保險ノ分ガ當時ノ所
謂社會保健省ヘ移ル、逓信省ノ簡易生命保
險ハ一ツノ保險會社デ言フト、丁度本社ダ
ケヲ移シテ行クンダ、サウスルトマア一方
ハ其ノ兄弟ガ別居スルコトニナルシ、今度
ハ親子ガ別居スル、併シ兄弟ヤ親子ハ身體
ガ別ニナッテ居ルノデスガ、見方ニ依ルト、
此ノ簡易生命保險事業ノ分レタコトハ首ト
胴ガ離レルト云フヤウナ言ヒ方ガヒドイカ
モ知レナイガ、兎ニ角此ノ省ガ分レテシ
マッタ、サウスルト明カニ起ル問題ハ經費ガ
増シテ來ルト云フコトト、ソレカラ同ジ所
デ仕事ヲスルノデヤナイカラ、氣乗ガ薄ク
ナルト云フコトハモウ通レラナイノデス、
ソレデ過般ノ逓信省ノ資金運用委員會ノ席
上デモ我々ハ其ノ事業自體ノ健全ヲ發達ト
云フカ、兎ニ角壞レナイ爲ニハ此ノ事業ガ
二ツニ分レルト云フコトハ甚ダ好マシクナ
イ、併シ當時新タナル施設ニ邁進シテ行ク

新内閣ガ、更ニ此ノ北支事變ニ當面シタノ
デアリマスカラ、當時ノ關係シテ居タ私共
三四名ノ者ハ、オ互ニ先ヅ此ノ際ハモウ之
ニ對シテ議論ヲ止メル、併シドウシタレバ
後ガ比較的無難ニ行クデアラウカト云フコ
トニ付テ、先ヅ出來ルダケカラ添ヘヨウヂ
ヤナイカト云フコトヲ申合セテ居タノデ
アリマス、偶、此ノ保險ノ制限ガ無論千圓ナ
リ幾ラデモ増スト云フコトガ、今ノ經營ノ
將來ノ色々不利ナル狀態ニ對シテ、多少トモ
之ヲ緩和スルト云フ意味デ、私ハ二重ニ贊成
ヲスルノデアアル、同時ニ衆議院其ノ他デ是カ
ラ出來タ剩餘金ヲ他ヘ廻スト云フコトハ私
共絕對ニ反對デアリマス、無論政府ガヤルン
ダカラ剩餘金ヲスツカリ使ッテシマッテモ、又
極端ニ言ヘバ、算盤ガ段々採レナクナッテ
責任ノ積立モ出來ナクナッテモ、國ガ經營ス
ルンデアアルカラ民營ノ會社ト違ッテ、之ニ對
シテ他ノ財源カラ補充スルナリ、契約者ニ
迷惑ヲ及スト云フコトハ萬ナサラウ筈ハナ
イノデアリマスケレドモ、明カニ一ツノ事
業ヲ經營スル以上ハ、確實正確ト云フコト
ヲ本ニ立テテ、他ノ財源ニ迄迷惑ヲ掛ケチ
ヤナラナイ、從ッテ此ノ制限ノ高マルコト
ハ右様ナ理由カラ言ッテモ是非必要デ、我々
今回ノ制限ノ擴張ハマダ生溫イ、斯様ニ思ッ

テ居ルノデアリマス、處デ御伺シタイノハ、
丁度一ツノ保險會社デ本店ガ厚生省ニ移ッ
テ居ル、地方ノ支店ヤ代理店ナドハ逓信省ニ
移ッテ行ク、サウスルト逓信省デ仕事ヲ扱ッテ
貰ッタ其ノ費用ヲ厚生省ノ方カラ賄ッテ行ク
モノト言ハネバナラナイ、是ハ逓信省ニ御尋
シマスガ、三等局ノ渡切ノ經費ハ無論其ノ
中ヘ保險關係ノ取扱ノ口數ニ應ジテ渡スノ
デアリマセウガ、ソレハ其ノ三等局長ニモ
概括シテ渡シテシマフノデスカ、局ノ渡切
ハドウ云フ工合ニナッテ居ルノデスカ、ソレ
ヲ先ヅ伺ヒタイ

○政府委員(山田良秀君) 逓信省カラ御答
ヘ申上ゲマス、三等郵便局ノ保險事業ノ取
扱費ハ、取扱ノ口數ニ應ジマシテ經費ヲ支
給スル、新規ノ契約ニ對シマシテハ、現在
ノ支給率ハ第一回ノ保險料ノ五割竝ニ保險
金ノ千分ノ六デゴザイマス、千分ノ六ト云
フノハ二回ニ分ケテシテ居リマス、尙引續
イテ集金ヲ致シマス場合ニハ保險料ノ九分
カラ始メマシテ、非常ニ口數ノ多イヤウナ
場合ニ對シテハ多少制限ヲ致スコトニナッテ
居リマス、ソレダケノ御金ヲ三等郵便局長ニ
渡切トシテ支給致シマシテ、其ノ中カラ三
等局長ガ然ルベキ金額ヲ實際ノ從事員ニ之
ヲ分配ヲ致シテ居ルヤウナ建前ニナッテ居

リマス、左様御承知ヲ願ヒマス
○下村宏君 御承知ノ此ノ制度ヲ始メタ時
分ニハ斯ウ云フ面倒臭イ仕事ヲ喰ッ付ケラ
レテ、田舎ノ三等局ハ其ノ煩ニ堪ヘナイト云
フコトト、民間ノ保險會社ノ反對ノ聲モ
強イカラト云フノデ、成ルベク仕事ハ控ヘ
目ニ控ヘ目ト云フノデ、初メハ餘程遠慮シ
テ居ッタデアリマセウガ、今言フヤウナ此
ノ渡切デ其ノ取扱ノ件數ニ應ジテ相當ノ資
金ガ出ルト云フコトデ、ソレガ此ノ事業ノ
一ツハ大キナ發展ノ骨子デアッテ、今日四十
億圓ニ近イ保險金、或ハ三千萬件ニ上ル保
險ノ契約ガ出來タノモ、サウ云フヤウニ取
扱フ毎ニ右カラ左ヘ手數料トデモ云フモノ
ガ出ル、ソレデ初メ面倒ニ思ッタモノガ、今
日ハ三等局ノ大キナ財源ニナッテ居ルト云
フコトデ是ガ増シテ來テ居ル、サウスルト今
度此ノ省ガ分レルト、逓信省ガ扱ッテ取扱高
ニ應ジタダケノ金ヲ厚生省カラ矢張り年々
何カ「スライディング・スケール」ト云フカ、
多ウケレバ多イダケヤル、少ナケレバ少イ
ダケヤルト云フ茲ニ緊密ナ聯繫ガ取レテナ
ケレバナラス、若シ唯定額ノ豫算ダケヲ貰ッ
テ、其ノ豫算ダケノ中デヤレ、ソレカラ餘
計仕事ヲ働イタラ働キ損ト云フカ、ソレダ
ケノモノガ貰ヘヌト云フノデアッタレバ到

底仕事ハ進ム筈ハナイト思フ、是等ノ點ガ厚生省ト遞信省ニ分レテカラ、其ノ取扱ニ對スル兩省間ノ今言フ手當ノ費用ノ交付ノ方法ハドウ云フコトニナッテ居リマスガ、御差支ガナケレバ御伺ヒ致シタイ

○政府委員(進藤誠一君) 御答ヘ申上ゲマス、只今遞信省ノ管理局長カラ申上ゲマシタヤウニ、遞信省ノ方デ三等局長ニ經費ヲ支給スル場合ニハ出來高ニ應ジテ經費ヲヤルト云フコトニナッテ居ル、其ノ結果此ノ簡易保險ト云フモノガ他ノ所謂御役所仕事ト違ヒマシテ、成績ガ益、上ッテ行クト云フ一ツノ大キナ原因デアルト云フコトハ御話ノ通りデアリマス、此ノ點ハ今後ニ於キマシテモ何等變ルコトハナイノデアリマスガ、遞信省ト厚生省トノ間ノ、言換レバ厚生省ノ持ッテ居ル簡易保險特別會計ト、遞信省ノ持ッテ居ル通信事業特別會計トノ間ニ於ケル金ノ取り遣リハドウナルカト云フ、斯ウ云フコトガ新タニ今度生ジタ問題デアリマシテ、是ガ只今ノ御質問デアリマス、ソレニ付キマシテハ今度ノ移管ニ伴ヒマシテ、新タニ單行法ガ出來マシテ、其ノ法律ニ依リマスルト、簡易保險、郵便年金ノ事務ノ取扱ニ要スル經費ニ充ツル爲毎年度簡易保險特別會計及郵便年金特別會計ヨリ通信事業特

別會計ニ繰入金ヲ爲スト、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、ソレデ此ノ規定ニ依リマシテ兩會計ノ間ニ繰入金ヲスルコトニシテ、ソレニ依ッテ經費ヲ支辨スルノデアリマスガ、此ノ繰入金ノ額ノ支出方法ガ問題ナンデアリマシテ、是ガ毎年度豫算ニ決メマシタ所ノ定額ノ金デアリマシタナラバ、折角通信會計ノ方デハ出來高ニ應ジテ經費ヲ支給シ、サウシテソレニ依ッテ成績ガ學ガルノガ、本元ノ厚生省カラ繰入レル經費ガ固定シタ爲ニ遞信省ニ於ケル成績ガ豫算以上ニ學ガッタ場合ニハソレニ對スル所要定員モ行カナケレバ手當モ行カナイト云フコトデハ今後保險ノ成績ガ學ガルコトハ困難ナルノデアリマス、ソレニ付キマシテハ私共ト致シマシテハ大藏省ニ目下交渉中デアリマスルガ、此ノ經費ノ算定ハ豫算額ニ固定シタ金額デナクテ、事務ノ分量ニ應ジテ或ハ多ク或ハ少ク支出出來ルヤウナ、所謂會計法上デ申シマスレバ補充使途ト云フ項目ニシナケレバナラヌト云フコトデ大藏省ニ交渉中デアリマス、マダ決リマセヌガ、是ハ是非共我々ノ希望ノヤウニ大藏省ニ話シテ決メテ貰フ必要ガアルト考ヘテ居ル次第デアリマス

○下村宏君 私ハ補充科目ニ入ッテ其ノ仕事ノ取扱ニ應ジタ費用ガ支辨サレナケレバ此ノ事業ハ動かナクナルト云フコトヲ確信シマス、ソレカラ次イデ……是ハ今ノハ金ノ問題デアリマスガ、人ノ問題デーツノ本店、支店、代理店ト云フ一ツノ釜ノ中ニ居ルカラ、此ノ人事ノ上ニ於テモ監督ヲスル上ニモ、又其ノヤル氣構エノ上ニ於テモ非常ニ滑カニ行クノデアリマスルガ、ドウモ是ガ分レテ居ルト、今厚生省ヘ移ッテ保險關係ノ諸君ハ長ク遞信省ニ居ッテ遞信省ノ現業ナリ監督ノ仕事モ知ッテ居ル、又皆ト額馴染デモアル、ソレカラ現在ノ遞信省ノ人達モ同ジヤウニ厚生省ニ移ッテ居ル人ハ元一ツ釜ノ飯ヲ食ッタ連中ダト云フ氣持モアリ、ココ暫クト云ヒマスガ、マア或間ハ多少ノ其ノ間ノ氣分ガ通フヤウニモ思フノデスガ、併シ段々ト是ハ歲月ガ經ッテ行クト、省ガ分レテ居ルトオ互ニ馴染モ薄クナリ、在來ノヤウナ氣持ハモウ當然薄ライデ來ルモノト思フ、デ之ヲ一體ドウ裁イテ行クト宜イカ、到底十分ニハ行カナイガ、矢張り現在ノ厚生省デ簡易保險ノ監督ニ當ル者モ遞信省ニ或期間ハ在職シテ居ッテ地方ノ現業事務ナリ、遞信省ノ監督事務ナリ、其ノ仕事ニ矢張り携ッテ其ノ仕事ヲ知ッテ居ルカラ監督ガシ宜イ、又其ノ居ル間ニ額馴染ガ

皆出來テ居ルト云フコトデ、矢張り遞信省ニ居ッテ者ガ厚生省ノ保險事務ニ關係スルヤウニナリ、反對ニ又遞信省ニ居ル人モ監督ノ方ノ側ノ仕事ヲ同ジヤウニ相當經驗ヲ見テ、茲ニ其ノ間ノマア氣分ノ上ト、ソレカラマア仕事ヲオ互ニ知り合フト云フ上ニ於テ相當ニマア連絡ガ執レルノデナイカ、詰リ此ノ事業ヲ通ジテ厚生省ト遞信省ノ間ニ人事ノ上デ必ズオ互ニ或程度將來共、新タニ採用スル人ハ殊ニ然リデ、サウ云フ何カ連繫ヲ執ッテ行カナイト非常ニ先ガ案ジラレルノデアリマス、是等ニ對シテ、是ハ今ノ中ニ其ノ方針ヲ皆決メテ置カレスト、先キデハナカノ段々ト機ヲ逸スルコトニナルカラ、サウ云フ點ニ付テ何カ兩省ノ間ニ取決メデモ出來テ居ルデセウカ、是モ若シ差支ガナケレバ承リタイノデアリマス

○政府委員(進藤誠一君) 只今ノ人事ニ關スル御質問ノ御趣旨ハ、是亦私共全ク同感デアリマシテ、一ツノ事業ガ兩省ニ分レタノデアリマスルガ、一方仕事ノ管理事務、計畫事務ハ厚生省、第一線ノ現業事務ハ遞信省ト、斯様ニナリマシテ、ソレデ從來ハ管理事務ヲ知ッテ居ル者ガ現業事務ニ當リ、又現業事務ニ慣レタ者ガ本省ヘ來テ管理事務ヲヤルト云フノデ、一體ヲ成シテ事業成

績ガ學デ居タノデアリマス、是ガ若シ兩

省ニ分レタ爲ニ、一方ハ管理事務、計畫事

務バカリヤリ、實際ノ仕事ヲ知ラナイ者ガ

計畫ヲスル、又一方仕事ヲスル者ハ、中央

ノ管理事務ヲ知ラヌト云フヤウニバラ／＼

ニナツテハ、只今仰シヤツタ通り、是亦成績

ニ影響スル所ガアラウト思ヒマス、其ノ點

ニ付キマシテハ、今度ノ厚生省移管ニ伴ヒ

マシテ、十分考慮サレマシテ、厚生大臣、

逓信大臣、兩大臣ノ間ニソレヲ圓滿ニヤル

ヤウニ人事ノ交流ト申シマスカ、相互ニ異

動ヲ適當ニヤルト云フヤウナ協定ガ出來テ

居リマス、之ヲ適當ニ運用致シマシテ、將

來モ一體トシテ、一致協力シテ、一團トナツ

テ仕事ガ出來ルヤウニ致サナケレバナラヌ

ト考ヘテ居ルノデアリマス

○下村宏君 厚生大臣ニ御伺シマスガ、マ

ア大體先程カラ述べマシタヤウナ事情デア

リマスカラ、諄イコトハ申シマセヌガ、

ドウカ此ノ補充科目ニ一ツ願フト云フコト

ト、ソレカラ人事モ今適當ニト言ツタガ、

ナカ／＼私ハ適當ニ行キニクイト思フ、是ハ

一ツ此ノ際ニ逓信省デモ、私ハ永井遞相ニ切

言シテ必ズヤルト云フコトヲ言ツテ居ツタ、

今當面ノ人デアリマスカラ、今ノ中ニ後ニ

好イ慣習ト言ヒマスカ、好イ例ヲ殘スヤウ

ニ特ニ一ツ御高配ヲ願ヒタイ

○國務大臣(侯爵木戸幸一君) 先程來ノ政

府委員トノ應答ハ十分了承致シテ居リマス、

御話ノ點ハ兩方トモ非常ニ重要ナコトデア

リマシテ、殊ニ補充科目等ノ問題ニ付キマ

シテハ折角只今努力致シテ居ル次第デアリ

マス、是非ハ實現シタイト思ツテ居リマ

ス、ソレカラ人事ノコトハ、殊ニ大事デア

リマシテ、御話ノ通り、分レマシタ最初ノ

人事ガ非常ニ大事ナンデアリマシテ、ソレ

等ニ付テハ逓信當局トモ十分話合ヲ致シマ

シテ、一應ノ取決メハ致シテ居リマスガ、

是ハ實際ノ問題ニナリマス、ナカ／＼御

話ノヤウニ實行上ムツカシイ點ガ間々アリ

マスノデ、出來ルダケ一ツ圓滿ニ、且一體

トナツテ動クヤウニ努力シタイト思ツテ居リ

マス

○政府委員(山田良秀君) 私カラモチヨッ

ト補足的ニ申上ゲテ置キマス、兩省間ノ人事

ノ疏通ガ非常ニ重要ナ點ニ付キマシテ色々

ト御忠言ヲ戴キマシテ、私共ノ如ク實際

衝ニ當ル者トシテ思ツテ居ルコトヲソックリ

言ツテ戴イタ感ガアルノデアリマシテ、非常

ニ感謝ヲ致シテ居リマス、保險事業ガ厚生

省ヘ移管サレマシテカラ既ニ二箇月餘ニモ

ナツテ居リマスガ、此ノ間ニ於キマシテモ常

ニ只今下村サンカラ御話ニナリマシタヤ

ウナ趣旨ニ依リマシテ、本省相互ノ間ニ於

テモ人事ノ疏通ヲ一ツ々々ノ事件ニ付テ現

實ニヤツテ居ルノデアリマス、將來ニ於キマ

シテモ出來ルダケサウ云フ方針ヲ進ミタイ、

尙郵便局ノ課長等ニ付キマシテモ、出來ル

ダケ厚生省ノ現業アタリニ從事シテ居ル

人ヲ持ツテ來テ、將來出來ルダケノコトヲヤ

リタイト思ヒマス、尙人事ノ疏通、相互ノ入

振リト云フコトノ外ニ、現在從事シテ居ル

人相互ニモ何カ事務的ノ連絡ヲ付ケテ置ク

コトガ總テノ連絡ノ上ニ於テ非常ニ影響ガ

アルト考ヘマシテ、本省相互間、逓信局ノ

保險課ト保險院ノ地方局デアリマス簡易保

險支局、ソレカラ郵便局ト其ノ土地ニアリ

マスル健康相談所、斯ウ云フ所ノ間ニモ相

互ノ業務ヲシ合フコトニ致シテ居リマス、

今折角手續ヲ取運中デゴザイマスガ、案ガ

決裁ニナリマスレバ約全國ニ於キマシテ二

百四五十名位ノ人ガ相互ニ業務ヲシ合ヒマ

シテ事務ノ連絡ヲ取リタイト思ヒマス、御

參考迄ニ申上ゲテ置キマス

○子爵富小路隆直君 社會事業法案ニ付キ

マシテ大臣ニチヨット御伺シタイノデアリ

マス、此ノ社會事業ノ資金ニ關シマシテハ

是ハ民間ノ篤志家ノ淨財ニ依ツテヤツテ行ク

ト云フコトハ甚ダ望マシイコトデアアルノデ

ゴザイマスガ、如何セン、今日ノ社會情勢

ハ之ヲ許シマセヌ、非常ニ是ハ遺憾ナコト

ニ存ジテ居ルノデゴザイマス、先般來色々

質疑應答ニ依リマシテ、政府ノ意ノアル所

ヲ承知致シタノデアリマスルガ、政府ハ此

ノ事業ノ發達助成ヲヤツテ居ルンダト云フ

コトデアリマスガ、眞ニサウ云フコトニ力

ヲ入レテ居ラレルナラバ、此ノ際何トカ此

ノ私設社會事業ノ財政的基礎確立ノ爲ニ何

トカ方法ヲ講ジテ戴イテ、安心シテ斯ウ云

フ優良ナ社會事業團體ガ事業ヲヤツテ行ケ

ル途ヲ開イテ戴キタイト云フコトヲ思フノ

デアリマス、何カ政府ニ於テ御考ガアリマ

スカドウカ、其ノ邊ノ所ヲ、將來ノ所ヲ御

伺ヒ致シタイノデゴザイマス

○國務大臣(侯爵木戸幸一君) 只今富小路

子爵カラノ御尋ハ本會議ニ於キマシテ丸山

サンカラモ同様ノ御質問ガアリマシテ、其

ノ際モ御答ヘ致シタノデアリマスルガ、政

府ト致シマシテモ本案ヲ作リマシタ趣旨ハ

度々申上ゲマスヤウニ、社會事業ヲ健全ニ

向上サセ、發達サセル爲ニ助成スルノデア

リマシテ、其ノ意味ニ於キマシテ社會事業

ノ助成ヲ厚クスルト云フコトニ付キマシテ

ハ今御話ノ意味ニ全ク御同感デアリマス、

或ハ僅少ト云フ御批評モアリマスルガ、兎ニ角補助金ヲ出スコトニナツテ居リマス、之ヲ或ハ又一面社會事業資金ト云フ此ノ間丸山サンノ御話ノヤウナ資金ヲ設定スルト云フコトモ一ツノ御論デアルト存ジマシテ、研究スル價值ハ十分アルト思ッテ居ルノデアリマスルガ、此ノ問題ハ其ノ財源其ノ他ノ點、色々ノ點ニ關係スル所モ多クゴザイマスシ、又内容ニ付キマシテモ相當調査シナケレバナラスト考ヘマスカラ、將來ハ十分研究致シテ出來マスナラバ、サウ云ツタ方面カラ此ノ事業ニ援助スルト云フコトニ付テモ盡力シタイト考ヘテ居リマス

○委員長(公爵岩倉具榮君) 外ニ御質問ゴザイマセスカ……御質疑ガナケレバ質問ヲ打切りマシテ討論ニ入りマス、三案一括シテ議題ニ供シマスガ、御異議ゴザイマセスカ……ソレデハ速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○委員長(公爵岩倉具榮君) 速記ヲ始メテ……是ヨリ討論ニ入りマス、三案ヲ一括シテ議題ニ供シマス

○田所美治君 意見ヲ申上ゲマス、先輩ノ御方々ガ澤山御出デニナリマシテ御陳述モゴザイマセウト存ジマスガ、私色々御質問申上ゲマシタカラ意見ヲ先ヅ申上ゲテ見タ

イト思ヒマス、社會事業法、商店法、簡易保險法中改正、此ノ三案ニ對シマシテ、過日來色々伺ヒマシタ結果、殊ニ社會事業法、商店法ハ我が國初メテノ立法デアリマシテ、色々伺ッテ見マスと云フト、マダ法律ト致シマシテハ、種々な點ニ於テ嫌ラスト申シマスカ、最初ノ立法トシテモ、モウ少シ斯ウ充實シタモノガ欲シイ感ジヲ致スノデアリマスガ、厚生省モ新クニ出來マシテ、社會事業ノ振興ヲ大イニ圖ッテ行クト斯ウ云フコトニナリマシタ時ニ、積年ノ問題ヲ解決シ、又商店ノ保護ト申シマスカ……ニ向ッテ一步ヲ進メル案ガ出來タト、斯ウ云フコトニ付キマシテハ、今日ノ場合結構ナコトト存ジマスカラ、三案共ニ贊成ヲ致シマス、唯、今申上ゲマシタヤウナコトガ、殊ニ社會事業法ト商店法案ニ付テアルノデアリマスカラ、其ノ兩案ニ對シマシテハ、内容ニ付テノ希望モ一端ヲ申上ゲ、又兩案ヲ實施サレル上ニ付テ御注意モ願ッテ置クト云フコトハ、議員ガ立法ニ參與シマス上ニ付テ、又政府ノ將來ノ御參考ニモナルト存ジマシテ、希望ノ意見モ附シタイト思フノデアリマス、其ノ希望ノ意見ヲ申上ゲテ見マセウ、内容ハ一面デハ助成保護ト云フ點ヲ擴充シテ貫ヒタイト云フコトガ一ツ、ソレカ

ラ一面ニハ取締、殊ニ罰則ノ適用等ニ付テハ十二分ノ御注意ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ點デアアルノデアリマス、兩案ニ大體通ジテ居リマスケレドモ、一ツ極ク粗末ナモノヲ書イテ居リマスカラ申上ゲテ見マセウ、社會事業法ニ對スル希望ヲ申上ゲマスレバ、「社會事業法案ノ規定スル處社會事業ノ監督取締ニ厚クシテ保護助成ノ趣旨甚ダ薄シ、政府ハ我國社會事業ノ現狀ニ照シ必要ナル獎勵補助ノ方策ヲ擴充シテ事業ノ健全ナル發達ヲ促スト共ニ、本法實施ニ際シ罰則ノ運用等ニ關シテハ特ニ細心ナル留意ヲナサシムコトヲ望ム」、商店法ニ付キマシテ申上ゲマセウ、「商店法實施ニ際シテモ商店ノ監督取締ニ付キテハ社會事業法ト同様極メテ深甚ナル注意ヲ望ム」、斯ウ云フ希望ヲ陳述致シマシテ、政府ノ御注意ト又御奮發ヲ望ムト斯ウ云フ譯デアリマス、其ノ次ニ三案ガ議題ニナツテ居リマスカラ、簡易保險法ハ從來アリマスノヲ其ノ一箇條ノ改正デアリマスカラ、之ニ付キマシテハ本日モ下村君カラ色々御質問ガアリマシテ、政府ノ御答ニナリマシタ趣旨ニ基キマシテ、此際尙御注意ヲ促ス爲ニ、簡易保險ノ事業ハ從來逡信省ノ所管デアリマシタモノガ、過般來官制ノ改正ト共ニ厚生省ト逡信省ノ兩省ニ跨ッテ兩省ノ

仕事ニナツタ譯デアリマスカラ、從來ハ非常ニ好成績ヲ擧ゲテ居ル事業デアリマシテ、今後ハ又厚生省ノ力ガ添ヒマシテ、尙ソレヨリモ一層進歩ヲ來サナクチャナラスト云フ際デアリマスカラ、此ノ「簡易保險ノ事務ノ處理方ニ付キマシテハ兩省ノ協力ガ圓滿且周到ニ參ラムコトヲ望ム」ト斯ウ云フ意味ノ希望ヲ申上ゲテ、簡易保險法中ノ改正ニモ贊成ヲ表シマス

○子爵富小路隆直君 チョット田所サンニ、今ノコトデチヨット伺ッテ置キタイ、今ソコデ御讀ミニナリマシタケレドモ、是ハ討論ノ一部分デアッテデスネ、希望條項デモ……希望條項デハナイノデゴザイマスカ

○田所美治君 サウデハゴザイマセヌ、希クバ全員ノ御贊成ヲ願ヒマシテ全員一致希望ノ陳述ト……

○子爵富小路隆直君 唯希望ト……希望條件デモ何デモナイト、討論ノ一部デアルト……

○田所美治君 サウデス

○子爵富小路隆直君 承知致シマシタ

○伯爵柳原義光君 私ハ田所委員ノ仰セラレタ意味ヲ全然贊成致シマシテ御同意申上ゲマス

○委員長(公爵岩倉具榮君) 外ニ御意見ゴ

ザイマセヌカ……ソレデハ三案ノ採決ヲ致シマス、三案ヲ可決スルコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(公爵岩倉具榮君) 全會一致ト認

メマス、三案ヲ可決スルコトニ致シマス、ソレデハ本日ハ是ニテ散會致シマス、……チョット申上ゲマスガ、本日職業紹介法中改正法律案ガ併託ニナリマシタノデ、次回ニ引續イテ會議ヲ開キタイト思ヒマスガ……ソレデハ明日午前十時ニ開會スルコトニ致シマス、是ニテ散會致シマス

午後二時四十九分散會

出席者左ノ如シ

委員長 公爵岩倉 具榮君
副委員長 子爵實吉 純郎君
委員

伯爵柳原 義光君
子爵米田 國臣君
子爵富小路隆直君
松井 茂君
男爵千田 嘉平君
中川 健藏君
下村 宏君
男爵加藤 成之君
男爵山根 健男君

國務大臣

文部大臣兼 侯爵木戸 幸一君
厚生大臣

政府委員

逓信省管理局長 山田 良秀君
厚生次官 廣瀬 久忠君
厚生省勞働局長 成田 一郎君
厚生書記官 灘尾 弘吉君
保險院長官 進藤 誠一君
保險院總務局長 佐藤 基君
保險院簡易保險局長 藤川 靖君

田所 美治君
若尾 璋八君
瀧川 儀作君
細田安兵衛君
出光 佐三君

昭和十三年三月十八日印刷

昭和十三年三月十九日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局